

平成30年度

# 橋梁技術発表会及び講演会

参加費無料  
定員250名  
申込先着順

**会場** レソラNTT夢天神ホール5F  
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神2-5-55  
Tel.092-781-8888

平成30年

**日時** 10/26 (金) 13:00~16:50

13:00~13:10 **開会の辞** 一般社団法人 日本橋梁建設協会  
会長 坂本 眞

## 第1部:技術発表会

13:10~13:50 **1. 「合成桁の設計例と解説」の改訂について**  
~こんなに変わった合成桁の設計~  
設計小委員会 設計部会 三宅 隆文

13:50~14:30 **2. 天城橋(仮称:新天門橋)の工事報告**  
~鋼PC複合中落式アーチ橋の施工~  
(ケーブルエレクション斜吊工法,台船曳航直下吊工法)  
架設小委員会 架設部会 山田 朗央

14:30~14:40 **休憩**

14:40~15:20 **3. もう腐食なんかこわくない!**  
~適切な維持管理と対策で鋼橋は守れる~  
保全委員会 保全第1部会 貞島 健介

15:20~15:35 **橋建協報告**  
~これからの墜落事故防止対策~  
安全委員会

15:35~15:45 **休憩**

## 第2部:特別講演会

15:45~16:45 **道路橋示方書改定と信頼性設計法**

長崎大学 大学院工学研究科  
システム科学部門 教授  
中村 聖三



16:45~16:50 **閉会の辞** 橋梁技術発表会 実行委員会  
委員長 上原 正

**申込方法** ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>  
の「技術発表会申し込み受け」まで  
(受付は平成30年9月14日~10月12日)

**申込期限** 平成30年10月12日(金)

**連絡先** 一般社団法人 日本橋梁建設協会 九州事務所  
〒812-0036 福岡県福岡市博多区上呉服町10-1  
(博多三井ビル9F)  
㈱三井E&S鉄鋼エンジニアリング内 Tel.092-262-2528

**継続教育** CPDS認定予定

**他地区** 大阪地区は 10月 5日(金) ドーンセンター  
中部地区は 10月12日(金) 東建ホール  
北海道地区は 11月 2日(金) 北海道経済センター  
東北地区は 11月16日(金) 仙台国際センター  
東京地区は 11月21日(水) 銀座プロッサムにて開催です。  
(6地区開催ですが、発表テーマは異なります)  
申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

技術発表会(第1部)の発表原稿(論文)及び発表PPTは、当日配布をしております。ホームページに掲載しますので、必要に応じて各自ダウンロードして持参して下さい。

### アクセス



- 西鉄福岡(天神)駅から徒歩2分
- 地下鉄空港線天神駅から徒歩5分
- 地下鉄七隈線天神南駅から徒歩5分
- JR博多駅から天神まで地下鉄で5分
- 福岡空港から天神まで地下鉄で11分
- 天神バスセンターから徒歩3分

## 1 「合成桁の設計例と解説」の改訂について

～こんなに変わった合成桁の設計～

「合成桁の設計例と解説」は、鋼橋設計の入門書として多くの方々にご利用頂いておりますが、この度、H29年の道路橋示方書改定に合わせて13年ぶりに改訂いたしました。今回の道示改定では、設計供用期間として100年を標準とすることが定められ、設計手法も従前の許容応力度設計法から部分係数設計法へと大きく変わりました。また、設計に求められる要求性能も耐荷性能、耐久性能、その他性能に大別され、耐荷性能の照査については、最大断面力を二つの限界状態で照査するなど、今までになかった全く新しい概念が導入されています。これらに準拠した改訂版のポイントや留意点について執筆者が分かり易く解説します。

## 2 天城橋(仮称:新天門橋)の工事報告

～鋼PC複合中路式アーチ橋の施工～(ケーブルエレクション斜吊工法,台船曳航直下吊工法)

天城橋は、熊本天草幹線道路の一部として建設された鋼PC複合中路式アーチ橋であり、橋長は463m、アーチ支間は350mである。アーチリブは鋼製のソリットリブ、中央径間部は鋼補剛桁、両側径間側はRC橋脚と剛結したPC桁で構成され、鋼補剛桁とPC桁の複合構造を有する。

架橋条件からケーブルクレーン(鉄塔高88m、スパン500m)を建設し、アーチリブはケーブルエレクション斜吊り工法にて架設した。中央径間部の鋼補剛桁は、工場地組した大ブロックを台船輸送し、アーチリブに吊上げ設備を設置して直下吊工法にて架設した。両側径間のPC桁施工後、PC桁先端に接合桁(鋼部材)を施工し、実測反映した閉合桁を落とし込み架設し、本体施工を完了した。

## 3 もう腐食なんかこわくない!

～適切な維持管理と対策で鋼橋は守れる～

鋼にとって腐食(酸化)は自然現象であり、その備え、対応は鋼橋の維持管理上の永遠のテーマである。しかし、防食を考慮した構造の採用、適切な維持管理を行うことで腐食を防ぐことは可能であり、たとえ腐食が進行したとしても鋼橋は補修・補強が十分可能である。「もう、腐食なんかこわくない!」と題して適切な維持管理方法、補修・補強の事例を紹介いたします。

## 特別講演会 講演者紹介

## 道路橋示方書改定と信頼性設計法

中村 聖三

長崎大学 大学院工学研究科  
システム科学部門 教授

## 一略歴一

1963年 福岡県生まれ  
1986年 九州大学工学部土木工学科卒業  
1988年 九州大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了  
1988年 川崎製鉄株式会社 入社  
1995年 博士(工学)(九州大学)の学位取得  
1999年 川崎製鉄株式会社退社 長崎大学勤務(助教授)  
2007年 長崎大学准教授  
2010年 長崎大学教授  
現在に至る

## 一専門分野一

橋梁工学,鋼構造,維持管理工学

## 一所属学会一

土木学会,日本鋼構造協会,溶接学会,九州橋梁・構造工学研究会,  
腐食・防食学会

## 一賞罰一

1996年 平成7年度日本鋼構造協会奨励賞(論文部門)受賞

## 講演概要

「橋、高架の道路等の技術基準」(道路橋示方書)が大幅に改定され、限界状態設計法および部分係数設計法が導入された。本講演では、これらと密接に関係する信頼性設計法を概説するとともに、これまでの許容応力度法との違いなどについて解説する。

平成30年度

平成30年

10月26日(金)

橋梁技術発表会

[九州地区]

参加申込方法



 一般社団法人 日本橋梁建設協会  
Japan Bridge Association Inc.

ホームページよりお申込み下さい。

<http://www.jasbc.or.jp/>「技術発表会」  
の申し込みはこちら。